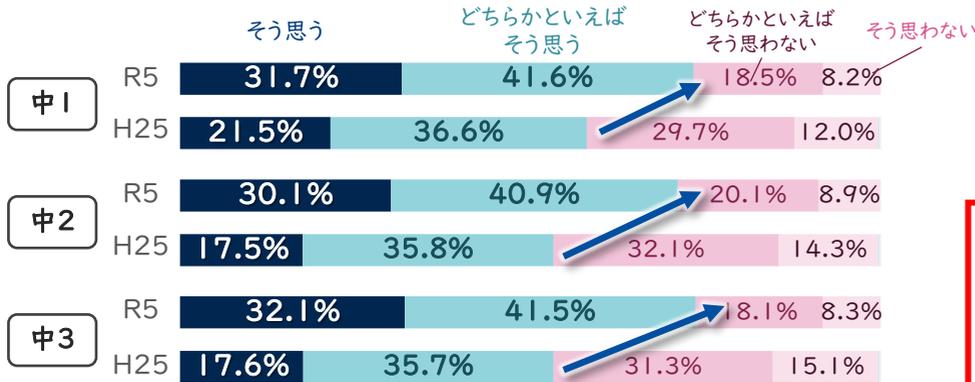


社会・地理歴史・公民 に関する参考資料

- ◆ 学習課題を設定し、その解決のためにみんなで調べたり考えたりすることが好きな生徒の割合は、全学年で前回調査を上回った
- ◆ 学習課題の解決に向けて教科書等を使って必要な情報を粘り強く収集していると肯定的な回答をした割合は約70%
- ◆ 友達の意見に対して自分の考えをもつようにしている生徒は85%を超えている一方で、資料などから疑問を見つけたり問いを作ったりしている生徒や、資料を集めて調べることが好きな生徒の割合は60%前後

学習課題(問い)を設定して、その解決のためにみんなで調べたり考えたりすることは好きですか。

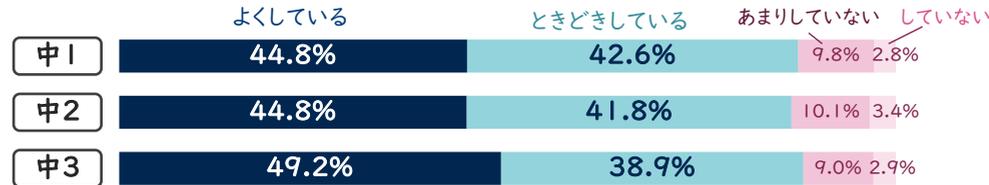


※前回調査(H25調査)では「社会科の授業で、学習課題を設定して、その解決のために調べたり考えたりすることは好きですか。」と聞いている。

学習課題の解決に向けて、教科書や地図帳、資料集、インターネットなどを使って必要な情報を粘り強く収集していますか。



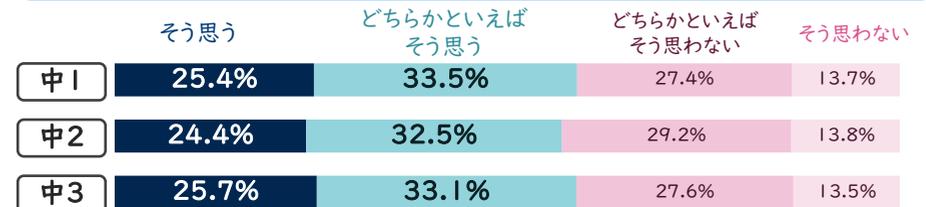
友だちの意見に対して、自分の考えをもつようにしていますか。



資料などから疑問を見つけたり問いをつくりたりしていますか。



自分で資料を集めて調べることは好きですか。



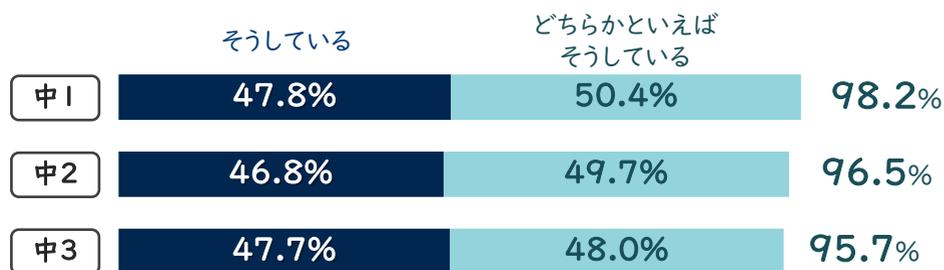
(出典) 中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。

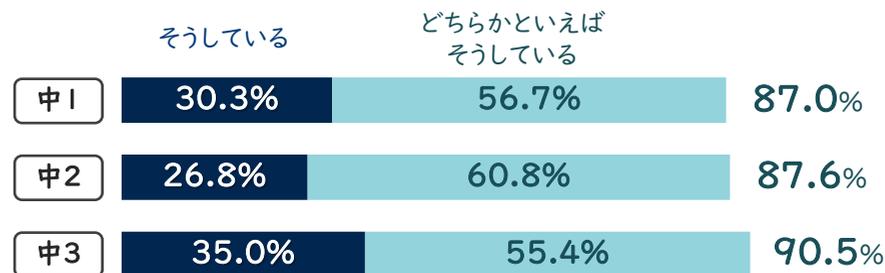
※設問項目ごとの割合は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までの数値で表示している。

- ◆ 生徒の疑問を引き出すような資料提示の工夫をしている教師の指導を受けている生徒の割合は、全学年で90%を超えている
- ◆ 見方・考え方を働かせる課題を設定して追究する学習活動を実施している教師の指導を受けている生徒の割合は90%前後
また、課題解決的な学習を授業に取り入れている教師の指導を受けている生徒の割合は前回調査から上昇
- ◆ 学習のまとめや振り返りの際に図や文章で書かせる指導している教師の指導を受けている生徒の割合も前回調査から上昇

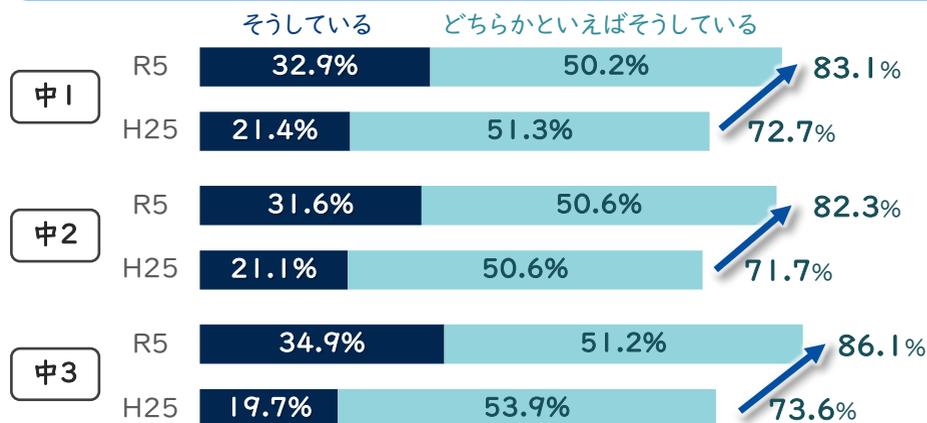
生徒の疑問を引き出すような資料提示の方法を工夫していますか。



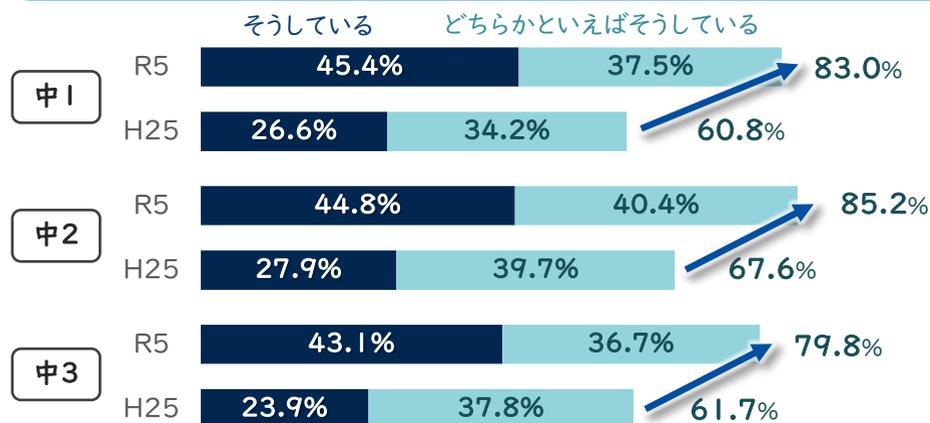
「見方・考え方」を働かせる課題(問い)を設定して追究する学習活動を実施していますか。



課題解決的な学習を取り入れた授業を行っていますか。



学習のまとめや振り返りを図や文章で書かせるよう指導していますか。



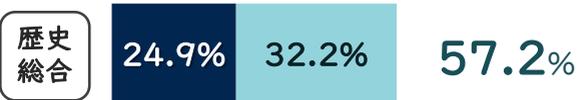
※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

(出典) 中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。

- ◆ 学習課題やテーマを決めて議論することが好きな生徒、議論している生徒は50%台にとどまる
- ◆ 議論することで「いろいろな人の考えがわかる」と回答した生徒の割合がいずれの科目も比較的高い
- ◆ 歴史総合において、「説明の仕方がわからない」と答えた生徒が比較的多い

学習課題(問い)やテーマを決めて、議論することは好きですか

そう思う どちらかといえば思う



※地理総合では「先生や自分たちが学習課題(問い)やテーマを決めて、議論(話し合い)をすることは好きですか」と聞いており、歴史総合では「学習課題(問い)やテーマを設けて話し合う(グループで意見交換すること)が好きだ」に対して当てはまるものを回答してもらう形式となっている。

学習課題(問い)やテーマを設定して、議論(話し合い)をしていますか。

よくしている ときどきしている



学習課題(問い)やテーマを決めて、議論することについて、どのような良さがありますか。(当てはまるものを全て選択してください)

	いろいろな人の考えがわかる	話すことが好き	自分の考えを話すことができる	社会の様子がよくわかる	みんなが活躍できる	自分の考えが深まる	新しいことを知ることができる	1から6のようない	あまりやったことがないのでわからない
地理総合	61.8%	28.7%		19.3%	10.2%	37.0%	32.7%	10.9%	
歴史総合	69.1%		31.5%	18.9%	12.4%	39.4%	40.4%	3.1%	10.2%

「学習課題(問い)やテーマを設定して、議論(話し合い)をすること」について次のようなことはありますか。当てはまるものを全て選んでください。

	いろいろな人の考え方がわかる	社会の様子がよくわかる	互いの意見を認め合う	みんなが活躍できる	自分の意見がまとまる	他の人に説明することが楽しい	新たな問いを見いだす	時間が足りない	議論(話し合い)の機会が少ない	1から9のようない
公共	53.4%	24.0%	32.4%	12.6%	18.1%	8.4%	16.1%	4.9%	14.6%	12.5%

学習課題(問い)やテーマを決めて、議論することについて、課題や難しさはありますか。(当てはまるものを全て選択してください)

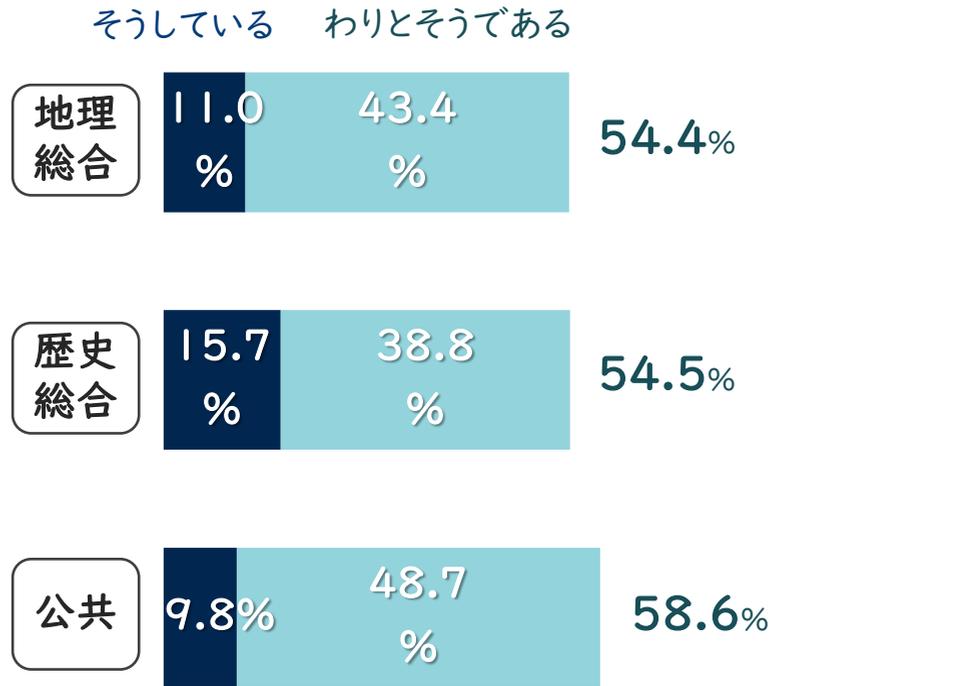
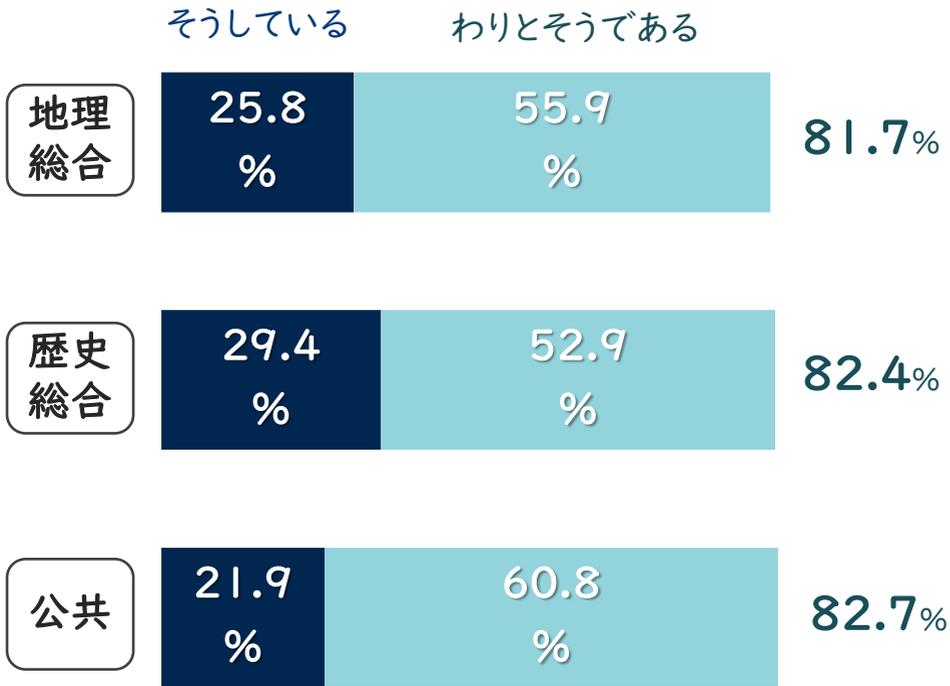
	難しくても分らない	説明の仕方がわからない	言い合いのようになる	一部の人がだけが活躍する	考える時間が足りない	自分の意見がまとまらない	恥ずかしい	1から7のようない	あまりやったことがないのでわからない
地理総合	22.5%	28.8%	9.1%	24.9%	17.8%	29.9%	12.3%	20.8%	
歴史総合	25.6%	42.9%	7.6%	22.3%	16.2%	31.5%	9.9%	7.4%	13.7%

(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

◆ 学習課題(問い)を設定し、課題解決的な学習活動を取り入れている教師の指導を受けている生徒の割合は80%強である
 一方で、生徒に学習課題(問い)を設定させて解決に向けて取り組む学習活動を取り入れている教師の指導を受けている生徒の割合は50%台にとどまる

教師が学習課題(問い)を設定する、課題解決的な学習活動を授業に取り入れているか。

生徒に学習課題(問い)を設定させて、その解決に向けて取り組む学習活動を授業に取り入れているか。



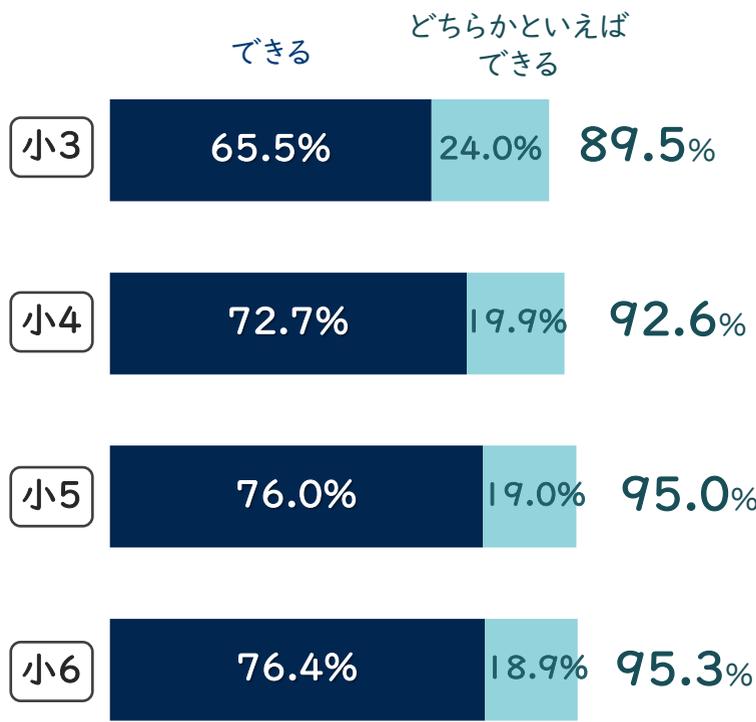
※地理総合では「教師が学習課題(問い)を設定する、課題解決的な学習活動を授業に取り入れている」、歴史総合では「教師が学習課題(問い)を設定して、生徒がその解決に向けて取り組む活動を授業に取り入れている」、公共では「教師が学習課題を設定する課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」に対して、該当する選択肢を4件法で聞いている。

※公共では「生徒自らが学習課題を設定する課題解決的な学習を取り入れた授業を行っている」に対して、該当する選択肢を4件法で聞いている。

(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。 5

- ◆ コンピュータを使うことができるという回答した児童の割合は全学年で90%程度
- ◆ 使用場面、役立った場面ともに、「調べる場面」が一番高い

パソコンやタブレットなどコンピュータを使うことはできますか。



どんな場面で使いましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

	調べる場面	話し合う場面	自分の考えを書く場面	調べたことをまとめる場面	授業の感想を書く場面	自分の学習をふり返る場面	その他
小3	83.7%	24.7%	37.0%	33.8%	23.6%	22.2%	7.8%
小4	89.8%	28.9%	47.5%	49.6%	34.1%	26.3%	6.4%
小5	93.6%	33.6%	57.3%	59.8%	39.4%	29.6%	6.0%
小6	94.7%	38.3%	61.2%	65.7%	40.9%	30.9%	5.4%

どんな場面で役立ちましたか。あてはまるものをすべて選んでください。

	調べる場面	話し合う場面	自分の考えを書く場面	調べたことをまとめる場面	ふり返りを 書く場面	自分の学習をふり返る場面	その他	役だったことはない
小4	84.6%	29.9%	40.9%	45.8%	28.3%	23.9%	2.6%	4.1%
小5	89.6%	34.8%	48.5%	54.8%	31.2%	26.3%	2.2%	2.4%
小6	90.8%	36.4%	48.5%	58.8%	30.3%	25.3%	2.6%	1.9%

(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、
 小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 「調べる」場面での活用が全科目を通して最も高く、「自分の学習をふり返る」、「自分の考えを発表する」場面での活用は比較的低い割合

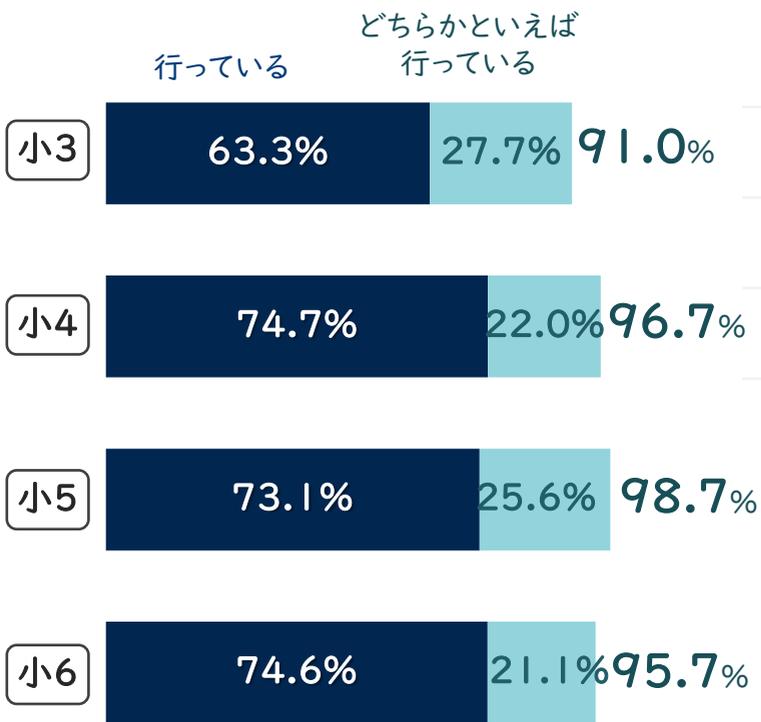
どんな場面でパソコンやタブレットなどコンピュータを活用しましたか。当てはまるものをすべて選んでください。

	調べる	話し合う	自分の考え を書く	調べたこと をまとめる	授業の感想 を書く	自分の学習 をふり返る	自分の考え を発表する	その他	使ったことは ない
地理 総合	68.7%	25.4%	25.6%	31.5%	15.3%	12.4%		3.3%	19.6%
歴史 総合	58.3%	16.6%	22.9%	26.1%		11.3%	12.2%	1.4%	24.4%
公共	58.6%	23.7%	27.1%	27.6%		13.6%	15.2%	3.5%	24.9%

※地理総合では「「地理総合」の授業で「パソコンやタブレットなどコンピュータを使うこと」について教えてください。どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください」、歴史総合では「「歴史総合」の授業で、パソコンやタブレットなどのICT機器をどのような場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください」、公共では「「公共」の授業で、どんな場面でパソコンやタブレットなどコンピュータを使いましたか。当てはまるものを全て選んでください」と聞いている。

- ◆ タブレットなどコンピュータを活用した授業の実施状況は全学年で90%以上
- ◆ 使用場面で特に多いのは「共通の資料を大きく提示する」、「インターネットで自由に調べる」
- ◆ 一方、行わない理由としては、小3・5で「準備や操作に時間がかかるから」、小6で「授業の進み方が遅くなるから」が多い

タブレットなどコンピュータを活用した授業を行っていますか。



どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。

	共通の資料を大きく提示する場面	資料を児童に配布(送信)する場面	インターネットで自由に調べる場面	児童が話し合う場面	児童の考えを一覧する場面	学習したことを図や作品にまとめる場面	オンラインで遠隔地と交流する場面	学習履歴を保存する場面
小3	87.4%	63.8%	86.9%	39.4%	56.3%	39.9%	10.8%	20.6%
小4	86.5%	69.7%	95.5%	44.0%	60.3%	57.5%	15.3%	22.9%
小5	86.1%	68.7%	95.7%	49.7%	57.7%	58.5%	17.9%	20.7%
小6	85.2%	66.9%	95.7%	52.6%	60.7%	53.9%	7.5%	19.1%

なぜ、行わないのですか。(もっともふさわしいものを1つ)

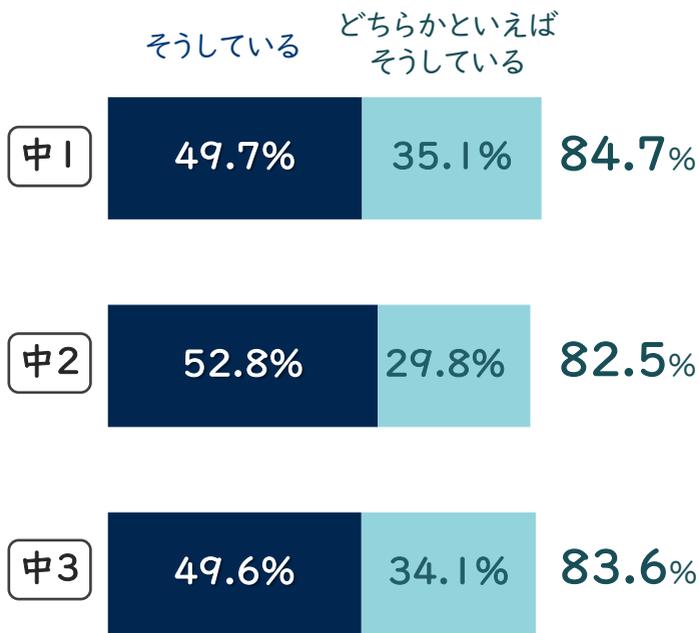
準備や操作に時間がかかるから	準備や操作が難しいから	学校の環境が整わないから	授業の進み方が遅くなるから
42.9%	21.4%	11.9%	23.8%

※3学年から6学年の教師の人数を合計して割合を算出。

(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 授業でのコンピュータや情報通信ネットワークの活用状況に関する質問項目に対し、肯定的な回答割合が全学年で80%以上
- ◆ 使用場面で特に多いのは「共通の資料を大きく提示する」、「インターネットで自由に調べる場面」
- ◆ 一方、行わない理由としては、「準備や操作に時間がかかるから」、「授業の進み方が遅くなるから」が多い

授業でタブレットなどコンピュータや情報通信ネットワークを活用していますか。



どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。

	共通の資料を大きく提示する場面	資料を生徒に配布(送信)する場面	インターネットで自由に調べる場面	生徒が話し合う場面	生徒の考えを一覧する場面	学習したことを図や作品にまとめる場面	オンラインで遠隔地と交流する場面	学習履歴を保存する場面	その他
中1	87.2%	54.1%	76.1%	53.7%	47.5%	35.5%	7.5%	16.6%	1.1%
中2	90.3%	68.1%	77.5%	48.3%	49.4%	35.8%	5.9%	12.2%	1.1%
中3	90.8%	65.9%	83.7%	60.8%	59.6%	38.0%	8.5%	13.3%	1.1%

なぜ、行っていないのですか。(最もふさわしいものを1つ選んでください。)

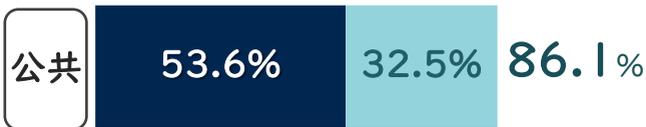
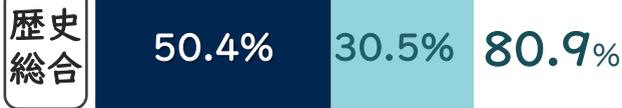
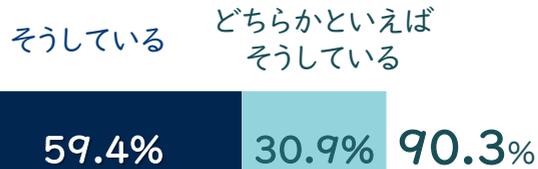
	準備や操作に時間がかかるから	準備や操作が難しいから	学校の環境が整わないから	授業の進み方が遅くなるから	授業で活用する場面がわからないから	その他
中1	39.4%	11.6%	5.5%	38.1%		5.4%
中2	32.6%	11.0%	6.3%	41.7%	3.9%	4.5%
中3	23.9%	13.0%	17.3%	39.0%	5.3%	1.5%

(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※中学校生徒には、コンピュータの活用状況に関する質問を実施していないため、教師質問のデータのみを提示する。
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 授業でのコンピュータや情報通信ネットワークの活用状況に関する質問項目に対し、肯定的な回答割合が80%以上
- ◆ 使用場面で特に多いのは「共通の資料を大きく提示する」、「インターネットで自由に調べる場面」
- ◆ 一方、行わない理由としては「授業の進み方が遅くなるから」が多い

授業でパソコンやタブレットなどを活用している教師の割合



※地理総合では「授業でパソコンやタブレットなどコンピュータを活用していますか。」、歴史総合では「授業でパソコンやタブレットなどのICT機器を活用していますか。」、公共では「授業でパソコンやタブレットなどコンピュータ(や情報通信ネットワーク)を活用していますか。」と聞いている。

どんな場面で使いましたか。当てはまるものを全て選んでください。

	共通の資料を大きく提示する場面	資料を生徒に配布(送信)する場面	インターネットで自由に調べる場面	生徒が話し合う場面	生徒の考えを一覧する場面	学習したことを図や作品にまとめる場面	生徒が発表する場面	オンラインで遠隔地と交流する場面	学習履歴を保存する場面	その他
地理総合	82.7%	49.7%	77.5%	33.6%	29.2%	30.8%		3.6%	11.9%	2.9%
歴史総合	82.4%	64.1%	70.3%	42.0%	32.1%	25.4%		3.9%	11.8%	0.3%
公共	83.7%	59.5%	72.2%	39.7%	37.2%	21.7%	34.4%	3.5%	9.0%	0.7%

なぜ、行っていないのですか。(最もふさわしくないものを1つ選んでください。)

	準備や操作に時間がかかるから	準備や操作が難しいから	学校の環境が整わないから	授業の進み方が遅くなるから	授業で活用する場面が分からないから	その他
地理総合	3.4%	1.9%	4.2%	4.3%		1.6%
歴史総合	24.0%	9.8%	8.9%	44.0%	1.7%	11.6%
公共	11.5%	25.5%	21.2%	26.2%		15.6%

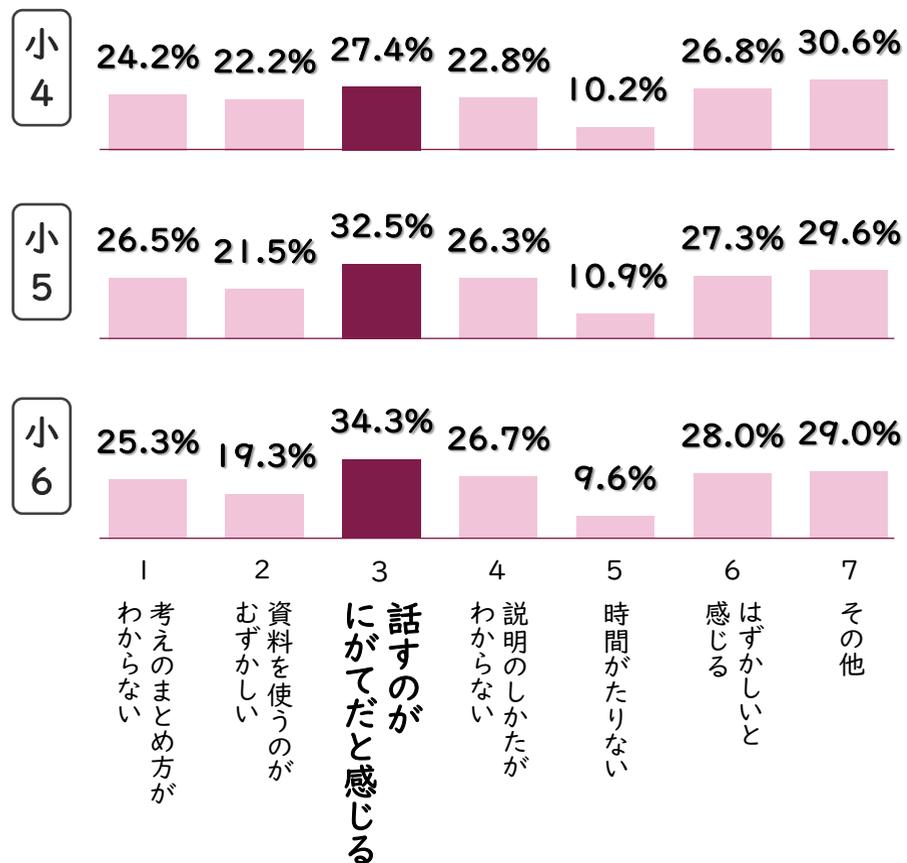
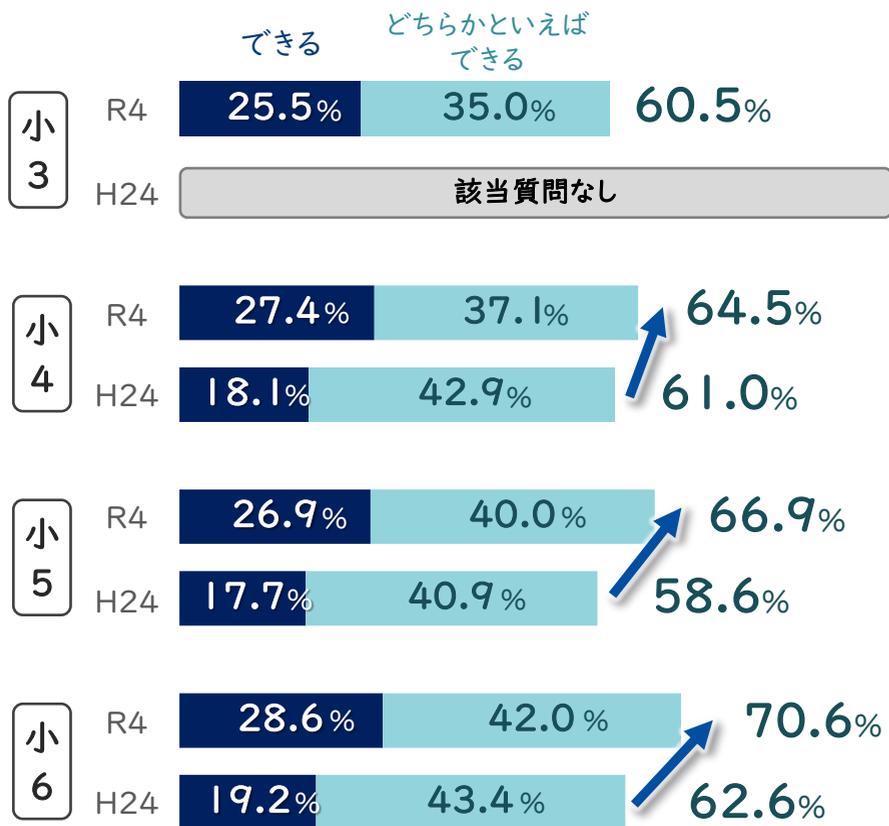
(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

◆ 自分の考えを資料などを使って説明「できる」と回答した割合が前回調査より高い一方で、「話すのがにがてだと感じる」と回答した割合が各学年共に高い

自分の考えを資料などを使って説明することができますか。

「自分の考えを資料などを使って説明すること」について、次のようなことはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

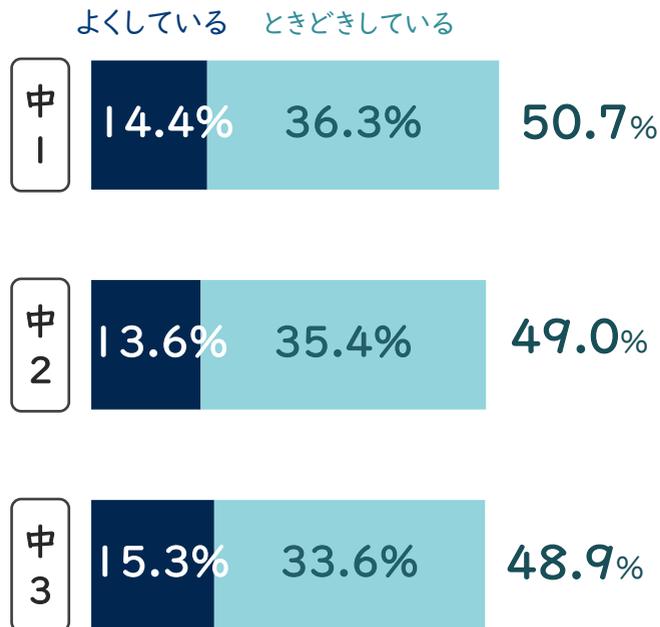


※前回調査(H24調査)では「社会科の授業で、自分の考えを資料などを使って説明することができますか。」と聞いている。

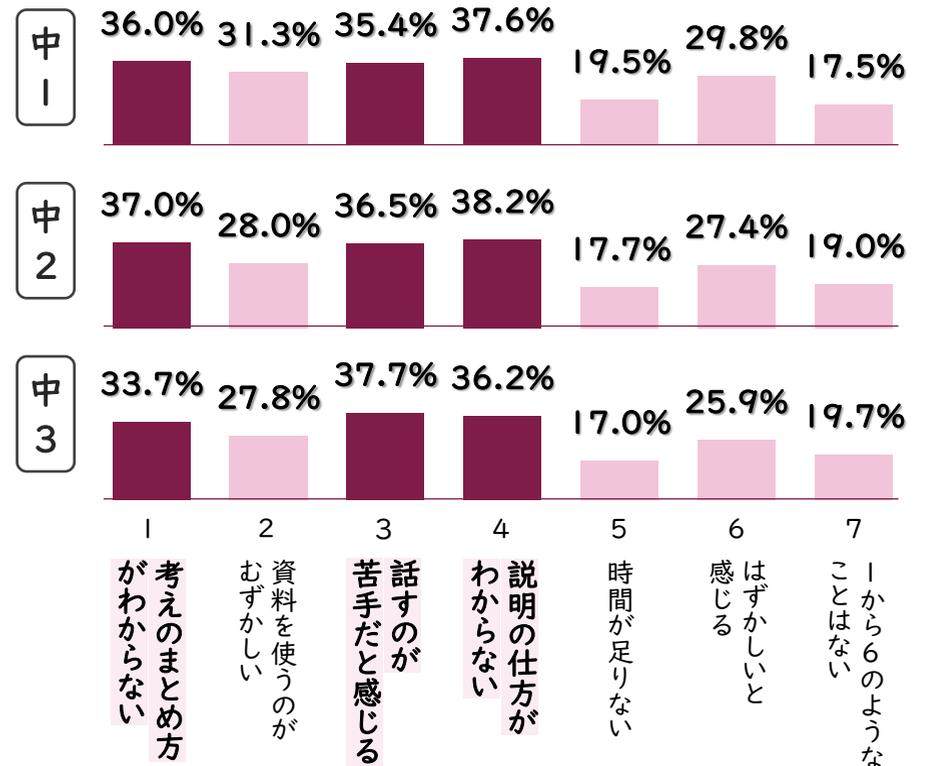
(出典) 令和4年度小学校学習指導要領実施状況調査より
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 自分の考えを資料などを使って説明していると肯定的に回答した割合は、約50%
- ◆ 「考えのまとめ方がわからない」、「話すのが苦手」、「説明の仕方がわからない」と回答した割合が各学年共に高い

自分の考えを資料などを使って説明していますか。



「自分の考えを資料などを使って説明すること」について、次のようなことはありますか。当てはまるものを全て選んでください。



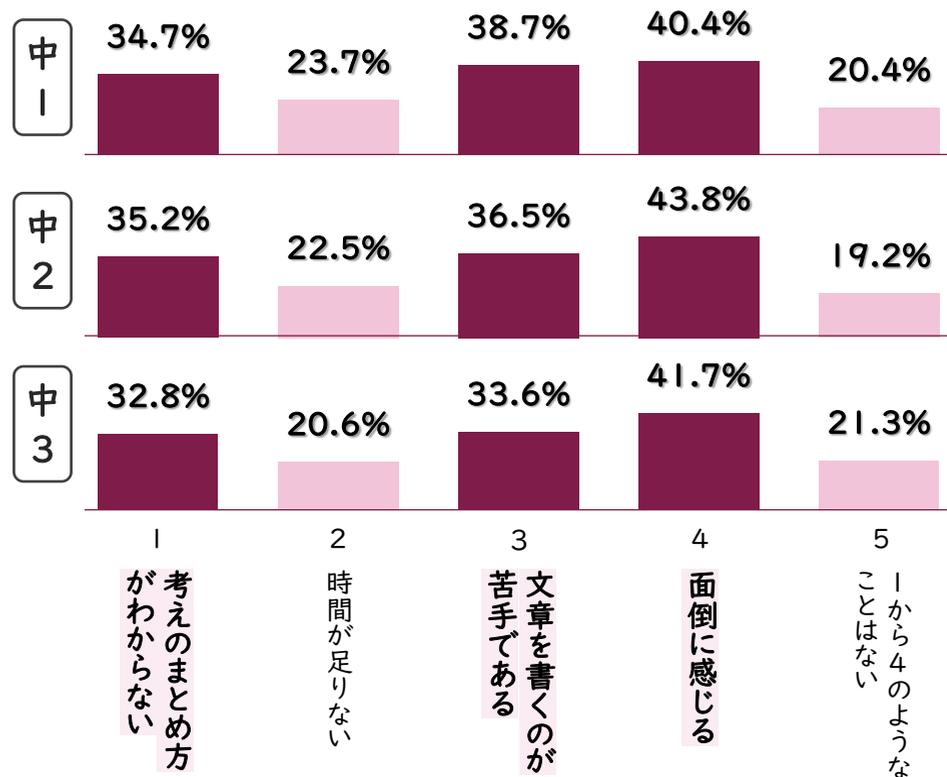
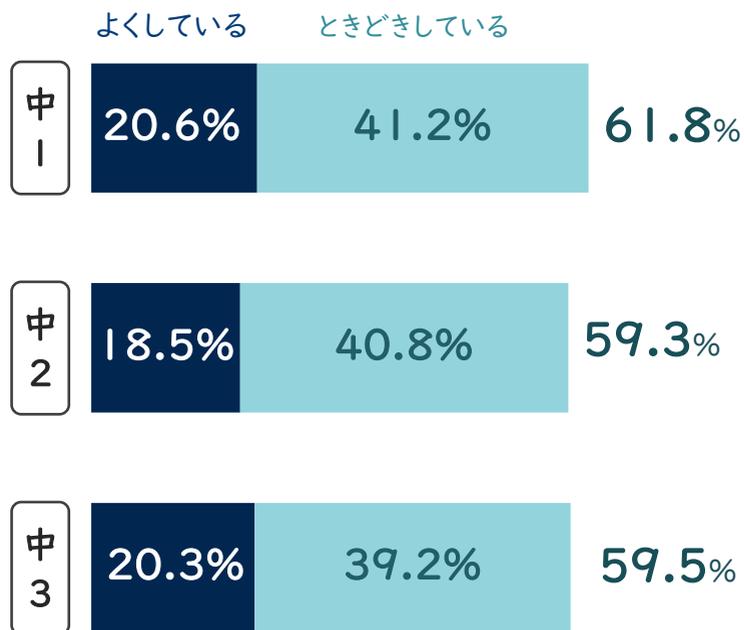
(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)

※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 調べたことを基に自分の考えを図に表したり文章で書いたりしていると肯定的に回答した割合は、約60%
- ◆ 「考えのまとめ方がわからない」、「文章を書くのが苦手」、「面倒に感じる」と回答した割合が各学年共に高い

調べたことを基に自分の考えを図に表したり文章で書いたりしていますか。

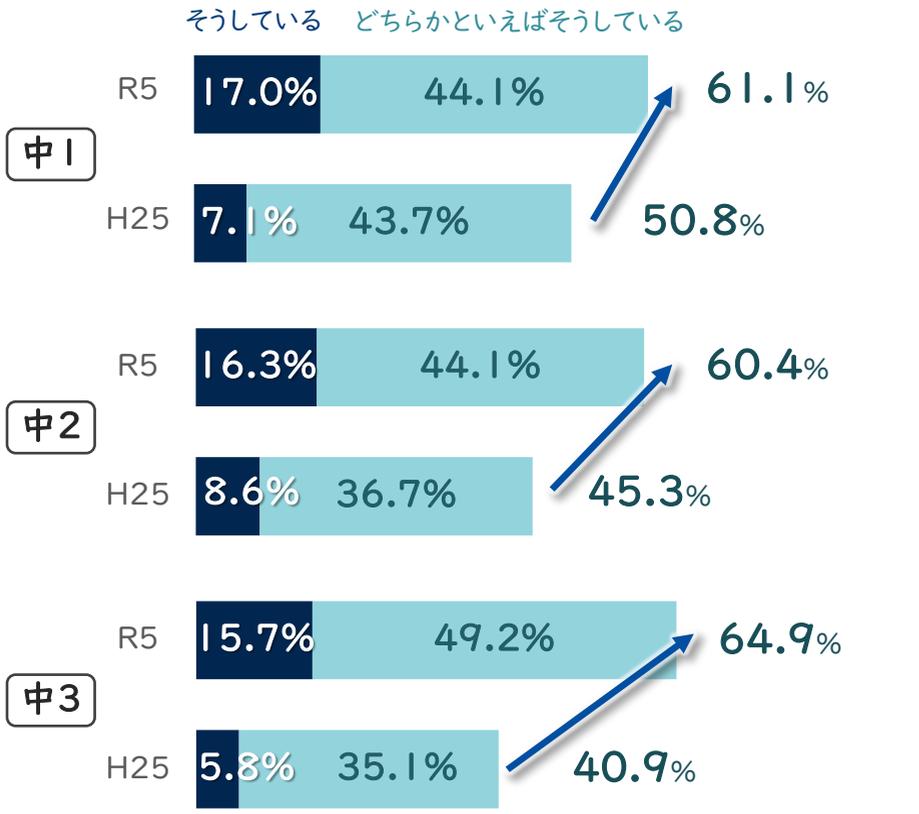
「調べたことを基に自分の考えを図に表したり文章で書いたりすること」について、次のようなことはありますか。当てはまるものを全て選んでください。



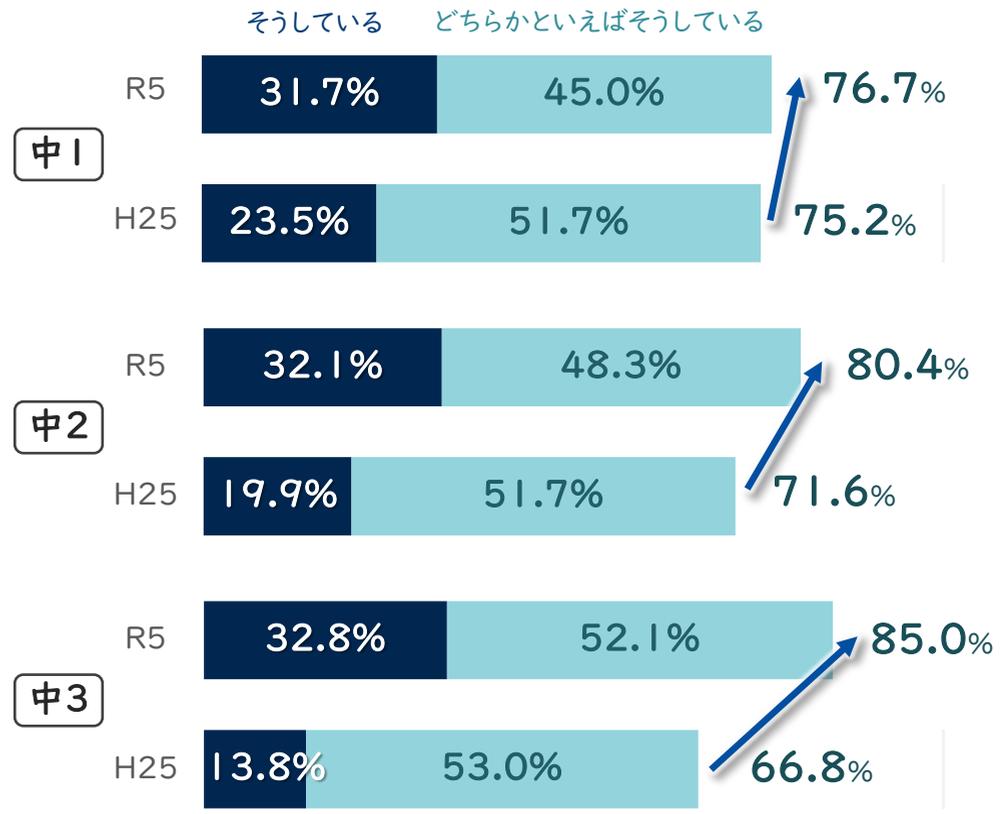
(出典) 令和5年度中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 生徒が予想に基づいて調べる計画を立てるよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合は、前回調査から上昇しており、60%を超えている。特に、中3については、前回から24%上昇
- ◆ 自分で資料や情報を探したり調べたりするよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合も前回調査から上昇しており、特に中3については、前回から18%増の85%

生徒が予想に基づいて調べる計画を立てるよう指導していますか。



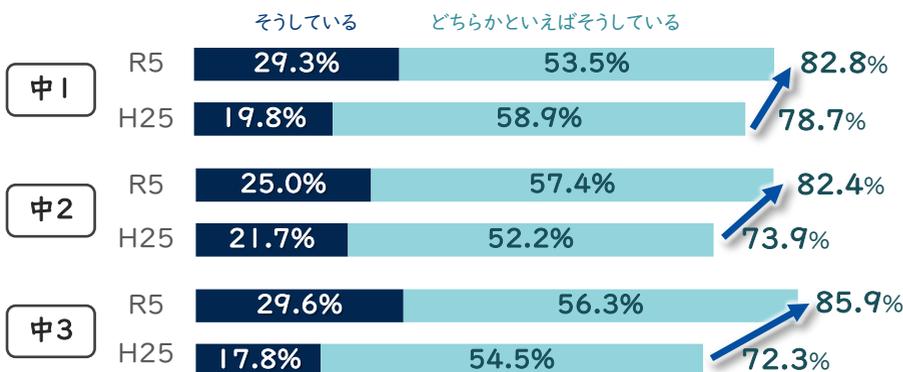
生徒が自分で資料や情報を探したり調べたりするよう指導していますか。



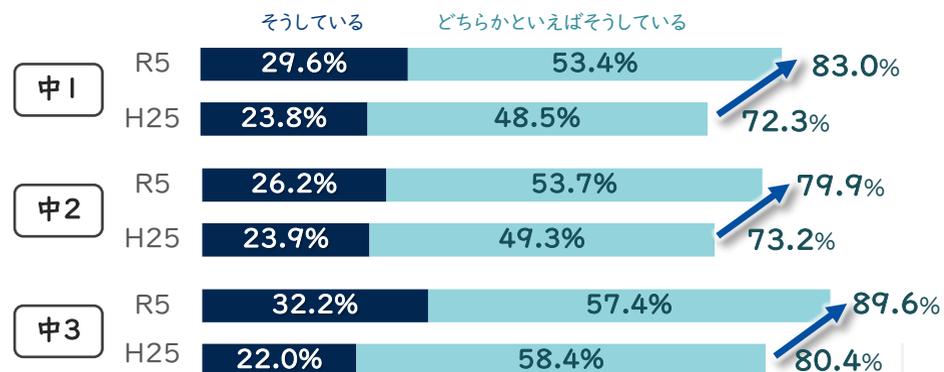
(出典) 中学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

- ◆ 調べたことについて「特色や意味を考える」、「根拠や理由を説明する」ように指導している教師の指導を受けている生徒の割合は 前回調査から上昇し、80%~90%強
- ◆ 他の立場から考えたり他の情報と比較させたりする授業の実施状況も前回調査から上昇
- ◆ 課題やテーマを決めて討論する授業の実施状況は前回調査から上昇しているが、50%前後にとどまる

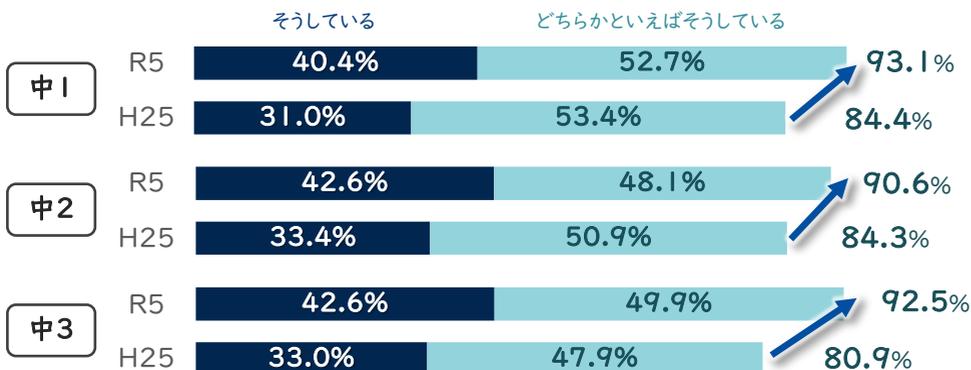
調べたことについて、どのような特色や意味があるかを考えるよう指導していますか。



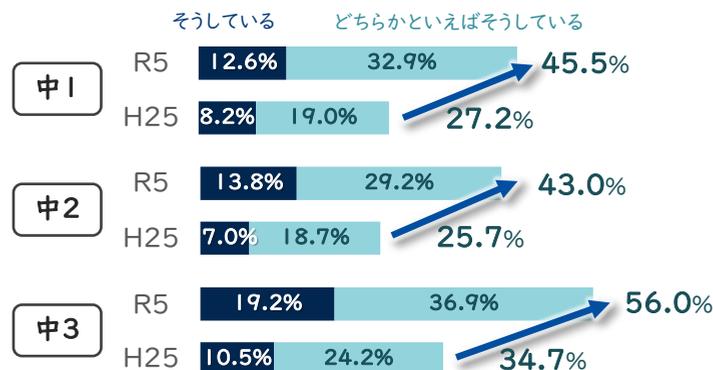
他の立場から考えたり他の情報と比べたりして考えるような授業を行っていますか。



調べたことや考えたことについて、根拠や理由を説明するよう指導していますか。



課題やテーマを決めて、討論する授業を行っていますか。

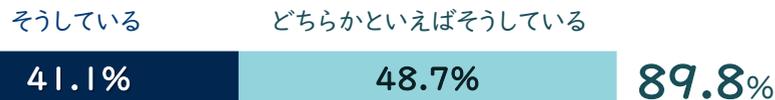


※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。

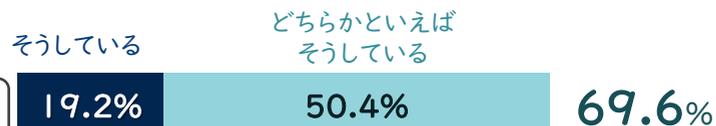
- ◆ 複数の資料を比較したり、関連付けたりする学習の実施状況は地理総合では89.8%、歴史総合、公共では70%後半
- ◆ 他者の立場や、他の情報と比較して考える授業の実施状況は、地理総合で77.3%、公共で86.8%
- ◆ 歴史総合において、調べたことの特徴・意味を考えるよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合は69.6%
- ◆ 公共において、情報の信頼性や客観性、真偽などを確認するよう指導している教師の指導を受けている生徒の割合は86.3%

複数の資料を比較したり、関連付けたりする学習活動を授業に取り入れているか

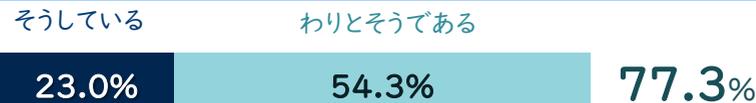


※地理総合では「いくつかの資料などから読み取れる情報を比較したり、関連付けたりする学習活動を授業に取り入れている」、歴史総合では「いくつかの資料などから読み取れる情報を比較させたり、関連付けたりする学習活動を授業に取り入れている」、公共では「複数の資料を関連させて考えさせる授業を行っている」に対して、該当する選択肢を回答する形式となっている。

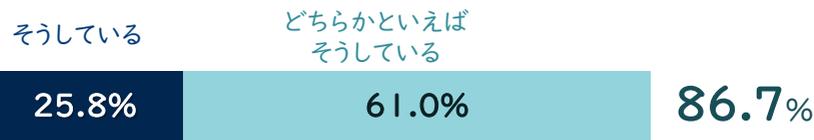
調べたことについて、どのような特色や意味があるかを考えるよう指導している



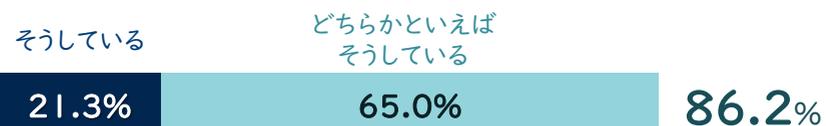
他者の立場から考えたり他の情報と比べたりして考えるような授業を行っている



他の立場から考えたり他の情報と比べたりするなど、多面的・多角的に考えさせる授業を行っている



情報の出典や発信者の立場なども踏まえ、情報の信頼性や客観性、真偽などを確認するよう指導している

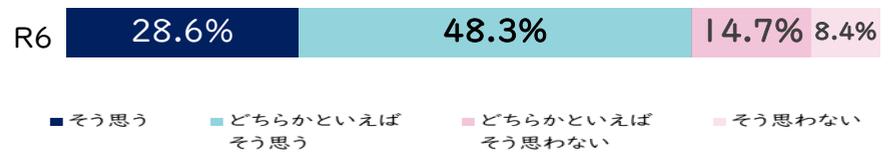


(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。肯定的な回答を求める際は、
 小数第2位以下も含めて計算するため、それぞれの数値は一致しない場合がある。

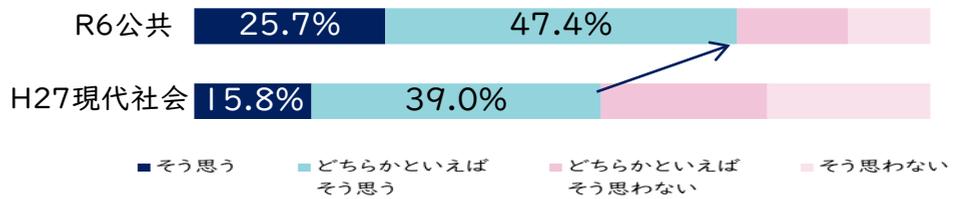
「公共」の学習における生徒の学習状況及び教師の指導状況について

◆ 人間としての在り方生き方についての探究の意識や、社会の一員としてのよりよい社会づくりの意識に成果が見られる

「公共」の学習をして、よりよく生きるための手掛かりを得ることができるようになった【生徒質問】

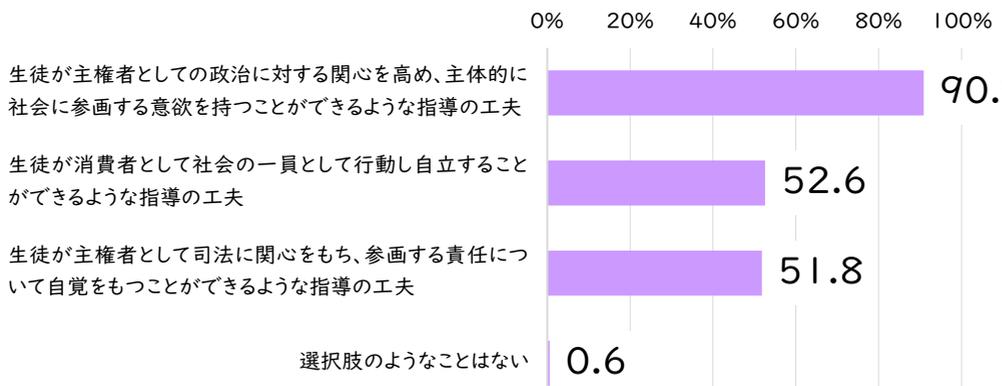


「公共」の学習をして、社会の一員としてよりよい社会を考えることができるようになった【生徒質問】

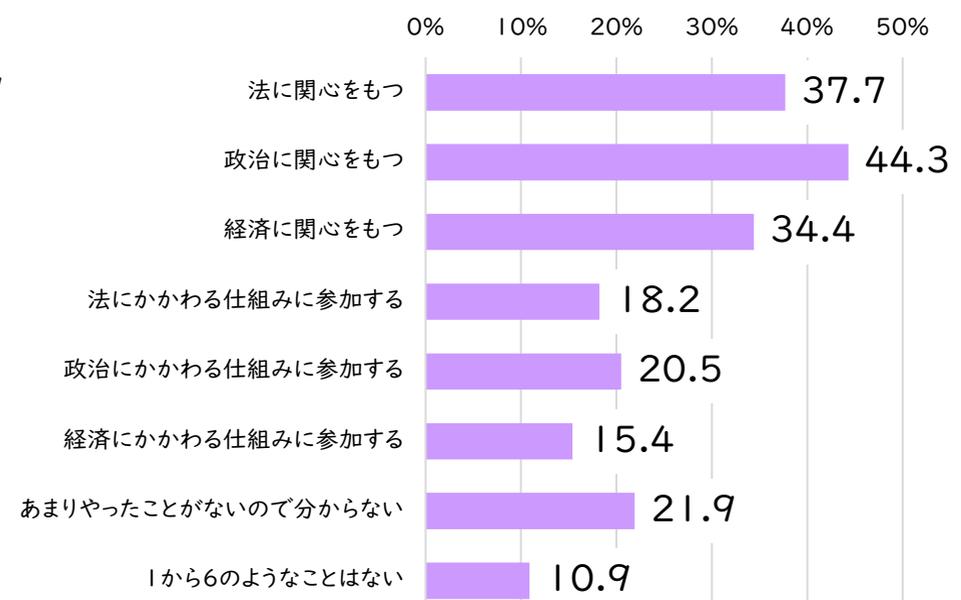


◆ 社会参画意識の涵養に関する指導の質的な充実への期待

選挙権年齢、成年年齢、裁判員年齢の満18歳以上への引下げに伴い、どのような指導の工夫をしているか【教師質問】



「公共」の授業で、模擬選挙や模擬裁判など、模擬的な活動を行うことで、次のことが大切だと考えるようになりましたか【生徒質問】



「公共」の学習をして、見学したり、地域や現実社会で働く人に話を聞いたりしてみたいと思った【生徒質問】

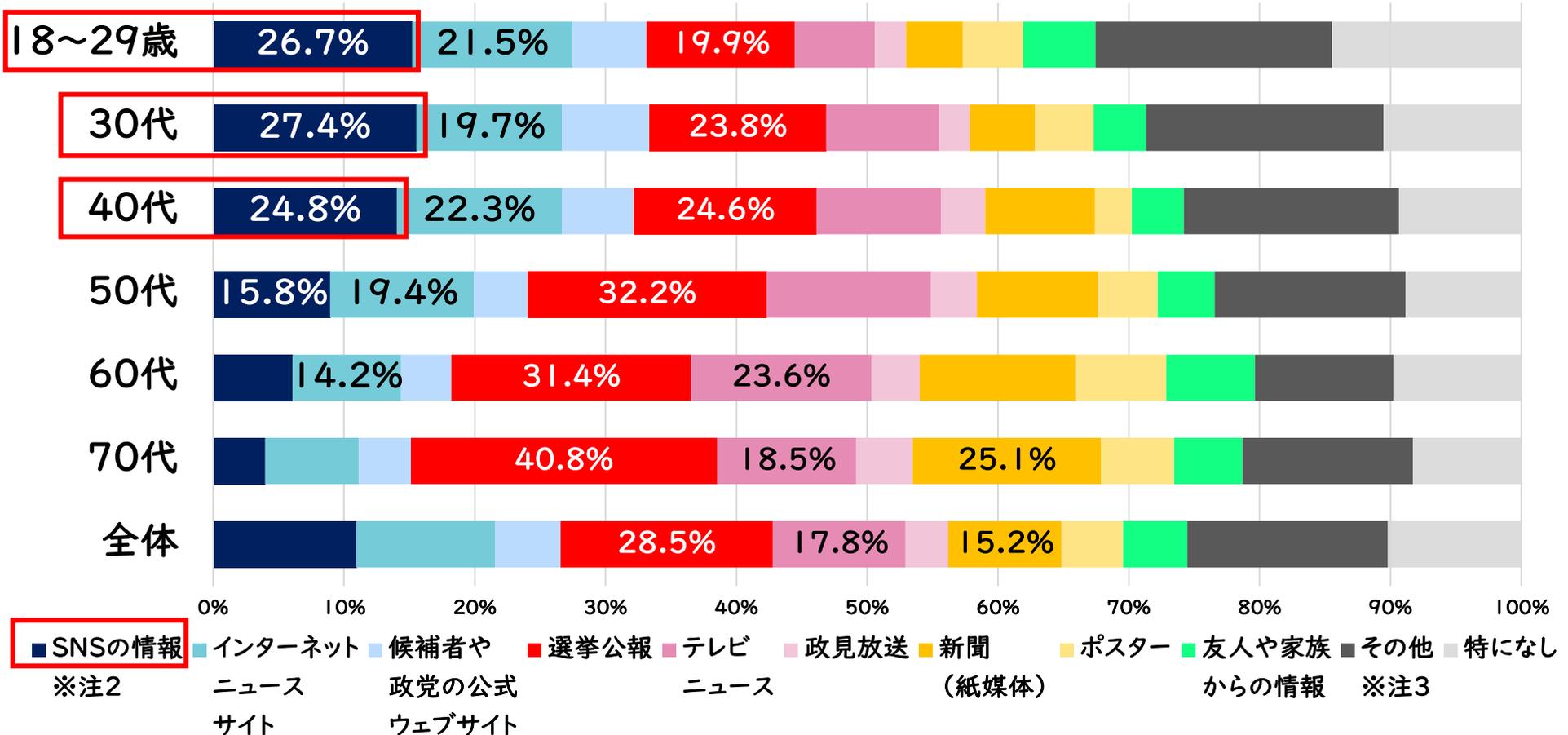


(出典) 令和6年度高等学校学習指導要領実施状況調査より(暫定値)
 ※調査方法や設問等については、前回調査と異なる場合があることに留意する必要がある。17
 ※各回答の数値は、小数第1位までの概数で表示。

選挙における投票行動に影響した情報媒体について

◆ 若い世代は投票行動に影響を与えた情報媒体として「SNSの情報」をあげている

あなたの投票行動に影響した情報媒体について教えてください。(2025年6月都議会議員選挙)



出典：(株)日本総合研究所未来価値研究所政治人材バンクプロジェクトが2025年8月19日に公表した【「都議会議員選挙・参議院選挙2025」有権者アンケート調査結果 東京都議会議員選挙（2025年6月22日投開票）、参議院議員通常選挙（2025年7月20日投開票）への選挙権を有した東京都に在住する18歳～79歳までの男女3,000人を対象
 注1：投票行動に影響した情報媒体については、回答者は最大3つまで複数回答している場合がある。
 注2：「SNSの情報※注3」については、「候補者のSNS(X、Instagramなど)」と「候補者発信以外のSNSの情報」を含めたもの
 注3：「その他」については、「ポスターのチラシ」「候補者マッチングサイト」「街頭演説」「選挙カーでの演説」「候補者・政党による討論会」「その他」を含めたもの

オンライン情報の信頼性の確認方法についての国際比較

◆ オンライン情報の信頼性を確認する割合が他国と比べ圧倒的に低い

① 情報の発信源を確認 **19%**
(米34%、中35%、独27%)

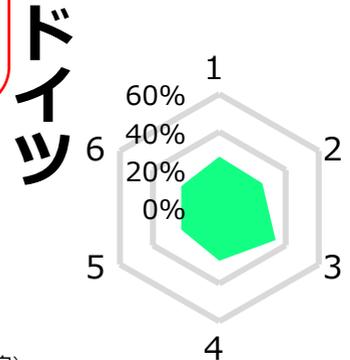
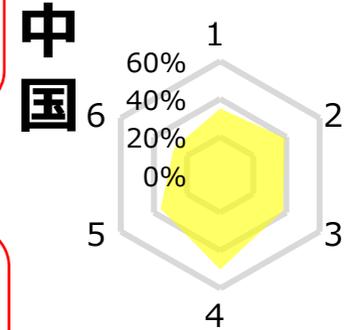
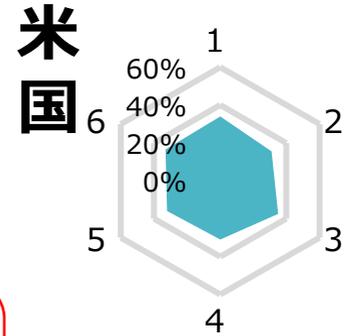
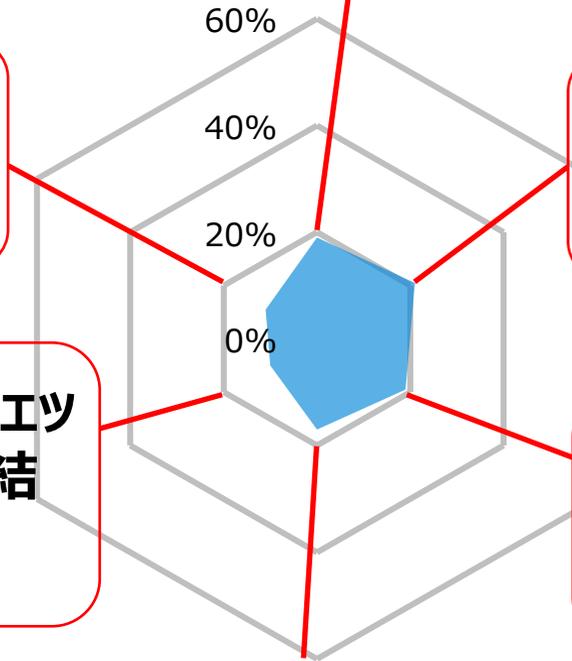
その他の方法で真偽を確認 **11%**
(米33%、中28%、独23%)

② SNSや動画で他の意見や反応を調べる **21%**
(米31%、中39%、独26%)

⑤ 専門家やファクトチェック機関による検証結果を確認 **10%**
(米32%、中36%、独23%)

③ 複数のニュース媒体による報道を比較 **19%**
(米35%、中38%、独34%)

④ 政府等が公表する情報を確認 **17%**
(米31%、中50%、独28%)



【出典】「国内外における最新の情報通信技術の研究開発及び デジタル活用の動向に関する調査研究の請負成果報告書」(2025(令和7)年3月 総務省情報流通行政局情報通信政策課情報通信経済室)

※アンケート対象: 各対象国の居住者及び、20代から60代の男女を対象 日本N=1030 米国、中国、ドイツ N=520

※オンライン情報の信頼性の確認方法: 「あなたはオンライン上で最新のニュースを知りたい時に、どのように情報の信頼性を確かめますか」の問いに「ほぼ全てのニュースについて行う」あるいは「よく行う」と回答した割合